

2012年 日光 ^{4時間}_{5時間} 耐久レース(E-1)開催規約

日光サーキット耐久レース (E-1) は、本開催規約及び特別規則に従って開催される。
すべての参加者は、これらの諸規則に精通して、遵守するとともにオフィシャル
の指示に従う義務を負うものとする。

【主催・運営】

CASHIEWスポーツ ※技術問合せ先

〒362-0001

埼玉県上尾市上76-6

TEL 048-772-8885

【1】 レース種別及び開催日

第1戦 2月19日(日)

第2戦 6月30日(土)

第3戦 8月25日(土)

4時間耐久レース

5時間耐久レース

4時間耐久レース

申込期間1月19日～2月12日

申込期間5月30日～6月23日まで

申込期間7月25日～8月18日まで

【2】 申込み先及び開催場所

(有)日光サーキット

〒321-0416

栃木県宇都宮市高松町984

Te l 028-674-4390 F a x 028-674-4493

【3】 エントリーフィー

¥30,000/台 (保険料別途@500円/1名)

※但し、日光サーキットの四輪走行会員の保険料は日光サーキットで負担いたします。

◎ピットクルー保険加入料 ¥500 (大会当日受付・入場者は全員加入義務があります。)

【4】 参加人数

1台につき2名から5名までとする。同一ドライバーの他車へのダブルエントリーは認めない。

【5】 参加資格

有効な普通自動車免許以上の所持者であること。

主催者としては、本大会に参加のドライバー&チームは大会規則書を熟読し、参加規則を熟知したものと判断します。

疑問のある場合はドライバーズブリーフィングで速やかに質問し、走行前に確認すること。

【6】 参加受付

-1 参加受付は大会日 1ヶ月前から 1週間前必着。

申し込み用紙、誓約書に漏れなく記入捺印の上、参加料を添えて現金書留またはサーキット窓口までお早めにお持ちください。

-2 参加ドライバー&チームは、明確にチームの代表者を参加申し込み書に明記し、主催者のアナウンスによる呼び出し等が行われた場合は速やかに対応できる体制を取って下さい。

また、メインポストからのペナルティー等に対しても、チーム代表者は速やかに対応して下さい。

-3 エントリー用紙、リザルトにペンネームを使用することは可能ですが、誓約書には住民票の住所氏名を記入して下さい。記入無き場合は保険の対象外になります。

【7】 募集台数・クラス

23台 (限定・先着順)

【8】 参加受理

本大会の参加申込みに際しての受理は本大会事務局が発行する正式受理書をもって参加を受け付けたものとします。(正式受理書の発行は申し込み期間終了後、速やかに郵送にて発行されるものとします。)本大会事務局は参加申込みの個人又はチームに対して、理由を明かすことなく参加を拒否することが出来るものとします。

【9】 中止延期・エントリー費の返金

主催者が危険と判断した場合及び、様々な要因でタイムスケジュールに遅れがでた場合は、中止もしくは延期、タイムスケジュールの短縮を行う場合があります。尚、悪天候による中止・天災による施設使用が困難な場合の中止にかぎりエントリーフィーから¥1,000(事務局経費)差し引いて返却致します。エントリー受理後キャンセルについては大会日から1週間前までは¥1,000(事務局経費)を差し引いて返却いたします。1週間過ぎての参加者理由による返却は行いません。

【10】 ゼッケン

ゼッケンNoは主催者側で決定し、当日ゼッケンプレートを配付します。配付されたゼッケンを参加車両のドア部左右(両ドア)に貼り付けてください。ゼッケンは走行開始から終了まで、脱落することなく保持して下さい。

ゼッケンの判読が困難であるとオフィシャルが判断した場合、オレンジボールによる修復を命じ、これに従わない場合は計測及び順位の認定を行わない場合があります。修復においては再生不能の場合、ガムテープ等による簡易的なゼッケンも認めます。

【11】 走行時服装規約

参加ドライバーはヘルメット(JIS規格C種以上が望ましい)及びレーシンググローブ(指先まで覆うもの)必須。またレーシングスーツ・レーシングシューズが望ましいが、上下の繋がった長袖・長ズボンの服(作業ツナギ服等、なるべく燃えにくく丈夫な素材が望ましい。)及び運動靴での参加も可。

【12】 車両規約

-1 一般市販の四輪乗用車(軽自動車は不可)

-2 ノーマルの燃料タンク(車両形式ごとの純正)を一切の改造を加えずそのまま使用する事。(燃料タンクの改造・安全タンク・コレクタータンクなど一切禁止。)

-3 一般市販のラジアルタイヤ(Sタイヤの使用は禁止) フェンダーよりはみ出さないこと。

※練習・予選・決勝中のタイヤ交換はタイヤ1本につき3分間以上停止する事。

- 4 4点式以上のシートベルトを確実に取り付け着用すること。
- 5 ブレーキとクラッチのリザーバータンク、バッテリーの+ターミナルは確実にテーピングを行う。
- 6 衝突・横転などでドライバー及び乗員の安全を確保できる車であること。運転席ドアは、内装を含め純正(ノーマル)無改造のドアを使用すること。オープンカーなどルーフ強度の無い車輛は、安全強度のあるロールバーを装備すること。
- 7 最大音量は105db未満とする。また、最低一つ以上のサイレンサーを有すること。
- 8 前後に牽引可能な牽引フックを確実に取り付けすること。
- 9 点検整備された安全な車輛で、積極的に油脂類(LLCクーラントも含む)の漏れ防止策を講じておくこと。

※注)コースイン前にオイル、水、燃料等の漏れ、白煙等が発見された場合、修復が完了するまでコースインは認めません。

- 10 参加車輛はフロアマット等、確実に固定されていないアクセサリ類は、車室及びトランクから排除すること。
- 11 ヘッドライト・テールランプ・ブレーキランプは必ず点灯すること。(ヘッドライトは片側のみの装着でも可) ※天候等によりライトオンの指示が出る場合がある。
- 12 ウインドネット(手作り不可)を取り付ける場合は、ボルト等の金属製の物を用い、確実に取付すること。(運転席の窓に装着の場合は、窓を開けての走行を可とする。)

改造範囲は上記の車輛規定に抵触しない範囲で安全であれば自由とする。

【13】 賞典

1位～6位にトロフィー又は盾+豪華副賞 (その他参加者全員に賞品有り)

【14】 参加走行規約

-1 予選

決められた時間又は周回内の各チームベストラップの速い順を予選順位(結果)とします。

-2 決勝グリッド

決勝のスターティンググリッドは、予選の結果順になります。

-3 決勝スタート方式

スタート方法は、ペースカー先導によるローリングスタート。ペースカーを先頭に全車コースインし、隊列が整ったところでペースカーがピットイン。フラッグタワーの日章旗を合図に決勝がスタートします。ペースカーがピットイン後もスタートライン手前は追い越し禁止です。先頭車輛がスタートラインを通過した時が耐久レースのスタートになります。コースイン終了時までには整列できない車輛はピットスタートになりますので、オフィシャルの指示に従って下さい。(ピットスタートは、全車両が1コーナーを通過後スタートし、決勝レース周回数より2周減算)

-4 走行中の運転席の窓は全閉

走行中は運転席の窓は全閉で、ドアロックは解除して下さい。

-5 ピットイン・ピットアウト

ピットイン・ピットアウトの際は必ず後続車に分かるようにウインカー等で合図をすること。急激な進路変更は大変危険です。特にピットアウトの際は1コーナーまで内側走行を義務づける。

-6 コースアウト

コースアウトなどにより本コースに復帰(オフィシャルの引上げが必要)できない場合は、ヘルメットを被ったまま、速やかに安全な場所まで一旦避難すること。ペースカー介入後、(場合によって

はレッドフラッグにて走行中断)オフィシャルが迅速に車輛引き上げに向かいます。オフィシャルが到着したら、ドライバーは速やかに車輛に戻り指示に従い車輛を本コースに復帰後、一旦パドックに戻り、オフィシャルによる再検査(車輛点検)を受けた後、再スタートを切ることができる。

-7 ペースカーラップ

走行に支障をきたす事故・車輛回収等がコース上で発生した場合は、フラッグポストより黄旗と白旗を同時に提示しペースカーを介入します。ペースカー介入時は追い越し禁止となりますが、基本的にトップ追いとなりますので各車両ペースカーの手合図に注意し指示に従うこと。また、ペースカー介入時も周回数を換算しピットインを認める。但しピットアウトはオフィシャルの指示により制限される。再スタートはペースカーがピットイン後、メインポストのグリーンフラッグにより再スタートとなる。←ローリングスタート

-8 ピット・ピットロード

ピット・ピットロード・給油エリアはリバースギヤの使用を禁止し、ピットロード速度は最徐行で20km/h以下を厳守すること。

また、ドライバー交換等を含む決勝中のピット作業の際は安全の為、(やむをえない場合を除き)必ずエンジンを停止する事。エンジンの押しがけ及び走行補助等の行為は禁止する。

-9 燃料の給油作業

※給油時は給油車輛の全タイヤが路面に接地している事。(ジャッキアップ等の禁止)及び、給油以外の作業は禁止する。給油中の整備作業・車を揺する等の行為を禁止する。)

-10 同一ドライバーの連続走行

同一ドライバーの連続走行は40分未満のこと。

【15】 決勝レース中の給油について

決勝中の給油は、指定した時間内で給油エリアのみ行うことが出来る。(最大 2 台まで同時給油可能。但し、参加台数により変更の場合あり)指定時間外・指定給油場所外では一切禁止し、違反した場合は即刻失格とする。

-1 給油時間及び給油停止時間

レース開始時刻より概ね1時間30分より3時間30分迄の間(2時間)、給油可能時間提示フラッグ掲示にて給油エリアを開放します。この時間枠での給油量は1回につき10ℓ以下または20ℓ以下とし、10ℓ以下は3分間、20ℓ以下は4分間の給油停止時間とする。(合計60ℓまで給油可能)

-2 給油方法

給油エリアに車輛を停車後→ ①エンジンを確実に停止する。(計時開始)→ ②ドライバーは必ず降車しドアを確実に閉めること。→ ③再スタートのドライバーが車輛に向け消火器を構える。→ ④給油開始→ ⑤給油終了後、確実に給油口を閉めたことを確認した後に消火器の構えを解除する。→ ⑥給油開始から規定の停止時間が過ぎ、オフィシャルの指示で再スタート!→ ⑦ピットロードを走行しコースに復帰する。(ピットには入れない。)

※給油エリアでのドライバーチェンジは認めるが、その他の車輛整備等の行為は一切禁ずる。

※給油は、必ず再スタートのドライバーと給油者の2名で行い、肌の露出がない服装でヘルメット及びグローブを着用すること。(耐火素材の服装が望ましい。)

-3 燃料の保管

決勝レースの給油用燃料の保管場所はエリア内に設けた燃料保管場所のみ保管できる。保管開始の案内をしますので案内にそって案内時間内に給油用燃料を保管エリアまでお持ち下さ

い。尚、給油行為の有無に関わらずピットエリアに燃料を保管することを禁止する。

※安全に使用できるスチール製のガソリン用携行缶のみ使用可能とし、1チームにつき10ℓ又は20ℓの携行缶入り燃料を容量合計60ℓまで保管できる。保管の際、携行缶には判別が容易に出来るようにゼッケン番号と10ℓ用又は20ℓ用かを明確に記入すること。10ℓ及び20ℓ缶の数量を用意することが困難な場合は、その度に計量にて対処しますので前もって申告すること。

保管時にオフィシャルが携行缶の計量を致します。そのため保管終了後は手を触れることはできません。給油後の携行缶は別スペースの使用後の保管場所に保管し、その後は保管解除の案内があるまで手を触れることができません。(給油時間終了後、携行缶の再計量をする為)

算出方法→ガソリン 20ℓの場合はガソリン比重が約0.78kg/ℓ×20ℓとし15.6kgとなりますので、(元の重さ)－(使用後の重さ)＝(重量差)として計算

誤差を考慮し16kg以上の場合は失格とする。(1缶ごと)※10ℓは8kg

【16】 計時・順位の認定

計時はサーキットの自動計測装置を用いて行う。耐久レース終了は、先頭車両がスタートから規定走行時間経過後にスタートラインを通過しチェッカーフラッグが振られ、スタートラインを通過した車両からレース終了となります。順位については終了時点の周回数により決定する。但し、同一周回数の場合は先にスタートラインを通過した順とする。

【17】 レース成立・不成立

耐久レース中に著しい悪天候又はトラブル等により競技の続行が不可能と競技長が判断したときは下記の対処となります。

※ 競技時間の50%～成立とする

また、レッドフラッグによって途中中断した場合で、再スタートする場合には計時を終了した時点の順位(レッドフラッグの提示前の周回)を再スタートの順位とする。また再レース終了後、結果に中断前レースの周回数のみ加算し総合順位とする。いずれも競技長の判断により決定し、各チーム代表者へ伝達します。

【18】 完走

トップ周回数の75%を周回しておりチェッカーフラッグを受けたものを完走として認める。

【19】 車輛保管

レース終了後、上位車輛を対象に再車検の為、車輛保管を行う事があります。指示がある場合は案内に従ってください。

【20】 クレームについて

様々なクレームに対しては、チーム代表者署名・捺印の入った文書のもと、チェッカー後20分以内にクレーム申請料¥30,000を添えて、事務局へ提出してください。なお、クレームが成立した場合は、申請料¥30,000は返却致します。※口頭でのクレームは一切受け付けません。

【21】 諸注意

・1 時間厳守

全てにおいて時間厳守。タイムスケジュールに遅れるチームは走行をお断りする場合があります。※注)やむを得ない事情等により、朝の受付時間に間に合わない場合は受付終了前にサーキットまでご連絡下さい。(連絡なき場合は出場を辞退したものとみなす。)

※ドライバーズブリーフィングには必ず参加ドライバー全員が参加して下さい。

・2 火気厳禁

パドック内は禁煙(火気厳禁)です。喫煙は喫煙所をお願いします。また、コンクリートウォールに

登ることも厳禁です。

-3 小さなお子様やペット連れについて

小さなお子様をお連れの場合は目を離さず、手を繋ぐなどをおねがいします。また、ペットをお連れの場合はリードを必ずお付けください。

-4 積載車・サービスカーの入場について

積載車・サービスカーは参加台数1台に対して1台のみパドック内に駐車可能です。

【22】フラッグ(旗)・シグナルの説明

※フラッグはサーキットを走る上で、重要なルールとなります。フラッグの意味を理解した上で、見落とし等のないよう、走行願います。※本大会では、シグナルフラッグの一部が通常(H項)の意味と異なる使用法となりますのでご注意ください。

-1 イエローフラッグ→危険あり/注意(安全な走行)・危険回避の気構えをしてください。

-2 白旗と黄旗の併用(特殊)→ペースカーの介入。全車追い越しを禁ずる。※ただしペースカーから指示のある場合は指示に従い安全な速度で速やかに隊列の最後尾に着いてください。

-3 レッドフラッグ→練習・予選・決勝を通して、走行中断/減速・徐行・追い越し禁止・ピットに戻り停止※オフィシャルの指示がない限りコース上での停止を一切禁ずる。基本的に決勝中は使用しませんが、やむをえない場合(悪天候によるレース中断等)に限り使用します。

-4 オイルフラッグ→練習から決勝を通して、路面が滑りやすい/急な降雨、オイル流出等。注意して走行してください。

-5 グリーンフラッグ→練習・決勝を通して先に出した合図の解除・コースクリア

-6 オレンジボール→機械的トラブルのある車両に対してのピットイン命令/改善できる場合のみオフィシャルの指示に従いコースインできる。

-7 ブラックフラッグ→非スポーツマンシップ的行為や人為的危険のある車両及び、ペナルティの対象車両に対してのピットイン命令/改善できる場合のみオフィシャルの指示に従いコースインできる。但し競技長の判断により、度重なる黒旗指示を受けた場合は失格とする。(同じ理由のペナルティを2度受けた場合等)

-8 日章旗→決勝時のみ使用。レーススタートの合図。

-9 チェッカーフラッグ→練習・決勝を通して走行の終了・又は競技の終了。

-10 給油可能時間提示フラッグ※白地にカメ(緑)のマーク→決勝中の給油可能時間にフラッグポストにて掲示します。